

小規模企業景気動向調査

[平成22年9月期調査]

～ 製造業を中心に減速の兆候がみえる小規模企業景況 ～

2010年11月9日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2010年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…2ヶ月連続でDIが減少した小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査によると、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲40.7と前月調査に比べ2.0ptの悪化となり2ヶ月連続で落ち込む結果となった。特に、製造業においては、これまでの海外需要の取り込みによる需要回復が頭打ち傾向を示していることに加え、円高による採算の悪化が影響している模様。建設業においては、季節的要因による需要期にあたるため好調を示す声も聞かれるが、小売・サービス共に悪化が続いており、地域の小規模企業にとって、先行き懸念が強まる状況となっている。

<製造業> ◇…円高による採算の悪化で減速した製造業…◇

製造業DIは、▲29.3と前月比で5.3ptの悪化となっている。これまで自動車部品や建機、半導体等を中心に続いていた中国等海外需要の取り込みによる持ち直し基調も頭打ちとなっている。加えて「円高により加工賃の2割カットを要求されている」(自動車部品製造業)など、元請業者からの円高を背景とした単価の値下げ要請が行われており、それが採算面の悪化をもたらした模様。一方で食品加工業においては「原材料の価格低下により、採算が改善した。」との声も聞かれている。

<建設業> ◇…時期的要因により持ち直しの声も聞かれる建設業…◇

建設業DIは、▲42.4と11.7ptの改善となっている。この時期は、年度末に次ぐ公共事業の受注期であるため、ひとまず受注を受けた事業者から「何とか一息つけた。」(福井県)といった声も聞かれるように、一時的なマインド面での改善が影響している模様。しかしながら「受注は一時的で今後の先行きは不透明」(愛媛県)との声は依然として根強くある。

<小売業> ◇…猛暑の影響により明暗が分かれた小売業…◇

小売業のDIは、▲38.2と前月に比べ4.2ptのマイナスとなっているものの、エコポイント制度により家電小売業は比較的堅調との声も聞かれている。猛暑の影響については、清涼飲料水や夏物衣料等において好調を伝える声も聞かれる一方で、「果物、葉物野菜の高騰により採算が悪化した。」と明暗が分かれる結果となった。また残暑の影響で衣替えが遅れ、「秋物衣料の動きが悪い。」との声も聞かれている。

<サービス業> ◇…大型連休とならず反動減となったサービス業…◇

サービス業DIは、▲38.8と2ヶ月連続での減少となっている。顧客の消費手控え傾向により「観光客が宿泊をせずに日帰りするようになった。」(旅館業)や「節約傾向が強く、単価が減少している。」(美容業)といった声も聞かれている。また、今年はいわゆる「シルバーウィーク」が大型連休とならなかったことから観光業全般から反動減を伝える声も大きい。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲35.4	▲36.4	▲1.0	▲17.0	▲23.9	▲6.9	▲54.1	▲42.4	11.7
採算	▲36.0	▲37.8	▲1.8	▲23.3	▲29.1	▲5.8	▲56.6	▲52.6	4.0
資金繰り	▲34.8	▲35.5	▲0.7	▲22.2	▲26.7	▲4.5	▲57.7	▲51.8	5.9
業況	▲38.7	▲40.7	▲2.0	▲24.0	▲29.3	▲5.3	▲60.7	▲56.6	4.1

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲30.7	▲36.1	▲5.4	▲39.7	▲42.9	▲3.2
採算	▲32.0	▲35.5	▲3.5	▲32.1	▲33.8	▲1.7
資金繰り	▲29.2	▲33.4	▲4.2	▲30.2	▲30.3	▲0.1
業況	▲34.0	▲38.2	▲4.2	▲35.8	▲38.8	▲3.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 市場開拓支援課

〒1050004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:森田 修造